

2021年(令和3年)2月24日(水曜日)

惟信高生が大型イラスト

名古屋競馬場前駅 港の景色など描く

港区正保町五のおおなみ線名古屋競馬場前駅のコン

コース内の階段に、惟信高校(同区)の美術部員が「安心・安全で快適なまちづくり」をテーマに、大型イラストをデザインした。お披露目と生徒への感謝状

の贈呈式が二十三日、コンコース内であった。

完成したイラストは、街の美化、あいさつや声掛けが活発な地域、人に優しい地域をテーマにした三作品で、階段の蹴込み部分に描かれている。幅一・五メートル



イラストが施された階段前に立つ飯田さん(右)と井田さん(左)＝港区正保町5の名古屋競馬場前駅で

高さ一・七メートルあり、いずれも美術部員がデザインを担った。

美術部は、二〇一九年度に全国高校漫画選手権大会(まんが甲子園)で決勝に進んだ経歴があり、絵やイラストの画力のある部員がそろつた。腕を見込んだ区がまちづくり事業の一環でデザインを同校に依頼した。

部員二十人がそれぞれ素案を作り、三年の飯田華代さん(この作品と、部長で二年の井田蘭乃さん(この二作品が採用された。はつらつとした若者や、外国籍の住民を含めた多様性のある人たちを描いた点や、港の景色や名古屋港水族館の生き物など区の魅力を盛り込んだ点が評価された。

贈呈式では、小山祥之区長が感謝状を手渡し、「若

い世代が、港区のことを一生懸命に考え、取り組んでいただいた。本当にありがたい」と感謝の言葉を述べた。イラストが描かれた階段を前に、飯田さんは「感無量。たくさんの人に見ていただけたら」と喜び、井田さんも「感動した。これからも、人に喜んでもらえる絵を描いていきたい」と話していた。(角雄記)